

課題研究論文

「保健体育教師教育と学校スポーツコース」

学校スポーツコースの特集にあたって

本学は開学以降、中学校教諭1種免許状（保健体育）および高等学校教諭1種免許状（保健体育）取得のための教職課程認定を受け、保健体育科の教員養成を実施している。例年、教員免許取得を希望する学生の割合は7-8割にも達し、非常に高い免許取得希望率と混迷が続く教員採用を背景に、本学が輩出する保健体育教師にはどのような力量を保証すべきなのか、模索を続けてきた。

コース制を敷く本学カリキュラムでは、原則的に、教職にかかわる科目はコース科目と切り離されており、どのコースに所属しても教員免許の取得は可能である。それにもかかわらず、保健体育教師教育に特化したコース、学校スポーツコースが存在していることには、やはり相応の意義があると考えられる。教職課程と学校スポーツコースという二重構造を踏まえながら、これからの保健体育教師教育のあり方について展望したい。

以下では、本学における教師教育、特に教科教育法の指導に携わる学校スポーツコースに所属する教員によって、本学が標榜するスポーツ学の考え方と学校スポーツコースのアイデンティティに関する理論的な考察、施行を控えている改訂学習指導要領と体育授業の課題に関する展望、そして保健体育教師としてのより実践的な力量を育むための模擬授業の成果に関する考察が展開されている。各々の研究成果からまた新たな課題が導かれ、よりすぐれた保健体育教師教育プログラムの開発と実践に取り組んでいく必要があるだろう。

小松崎 敏